

情報連絡員総括表（2025年2月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 58 名 : 回収率 96.7%)

○2025年2月のDI値（全体）は、前月との比較において、「在庫数量」「取引条件」「収益状況」の3指標が改善し、その他6指標が悪化した。前年同月比で、主要3指標をみると「売上高」「収益状況」の2指標は改善したものの、「業界の景況」は悪化した。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「在庫数量」「取引条件」の3指標が改善し、その他6指標が悪化した。「設備操業度」は、前月比でマイナス17.4ポイントの悪化を記録している。「織物業」では、遊休織機の再活用を模索していることや、「輸送用機械器具」では、生産計画が下降気味であることが、こうした「設備操業度」の悪化を引き起こしている要因であると考えられる。

○「非製造業」では、前月との比較において「取引条件」「収益状況」の2指標が改善し、その他5指標が悪化した。悪化を示す指標が多くある中、「収益状況」は3か月連続で改善傾向を示している。一方、「業界の景況」は、ここ1年間でもっとも低いマイナス41.4のDI値を示している。「総合工事建設業」では、年度末の駆け込み需要が増えている一方、「職別工事建設業」では、各種工事計画の中止・延期・縮小が散見されることから、先行き不透明感が拭えない状況にある。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2025年2月	3.4	-16.2	27.6	-8.6	-22.4	-20.7	-24.1	-12.1	-34.5
2025年1月	3.4	-13.9	32.2	-11.9	-25.4	-16.9	-6.7	-3.4	-25.4
増減	0.0 ↓	-2.3 ↑	-4.6 ↓	3.3 ↑	3.0 ↑	-3.8 ↓	-17.4 ↓	-8.7 ↓	-9.1 ↓

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減		
売上高	2025年2月	3.4	3.4 ポイント	↑	3.4	-3.5 ポイント	↓	3.4	0.0 ポイント	↓	0.0	0.0 ポイント	↓	
	2025年1月	0.0			6.9			3.4						
在庫数量	2025年2月	-17.2	-10.5 ポイント	↑	-14.3	16.5 ポイント	↓	-16.2	-2.3 ポイント	↑	-13.9	-2.3 ポイント	↑	
	2025年1月	-6.7			-30.8			-13.9						
販売価格	2025年2月	24.2	-2.4 ポイント	↓	31.1	-6.8 ポイント	↓	27.6	-4.6 ポイント	↓	32.2	-4.6 ポイント	↓	
	2025年1月	26.6			37.9			32.2						
取引条件	2025年2月	-6.9	3.1 ポイント	↑	-10.3	3.5 ポイント	↑	-8.6	3.3 ポイント	↑	-11.9	3.3 ポイント	↑	
	2025年1月	-10.0			-13.8			-11.9						
収益状況	2025年2月	-31.1	-4.5 ポイント	↓	-13.8	10.3 ポイント	↑	-22.4	3.0 ポイント	↑	-25.4	3.0 ポイント	↑	
	2025年1月	-26.6			-24.1			-25.4						
資金繰り	2025年2月	-27.6	-7.6 ポイント	↓	-13.8	0.0 ポイント	-	-20.7	-3.8 ポイント	↓	-16.9	-3.8 ポイント	↓	
	2025年1月	-20.0			-13.8			-16.9						
設備操業度	2025年2月	-24.1	-17.4 ポイント	↓	/				-24.1	-17.4 ポイント	↓	-17.4	-17.4 ポイント	↓
	2025年1月	-6.7			-6.7									
雇用人員	2025年2月	-13.8	-10.5 ポイント	↓	-10.4	-6.9 ポイント	↓	-12.1	-8.7 ポイント	↓	-3.4	-8.7 ポイント	↓	
	2025年1月	-3.3			-3.5			-3.4						
業界の景況	2025年2月	-27.6	-4.3 ポイント	↓	-41.4	-13.8 ポイント	↓	-34.5	-9.1 ポイント	↓	-25.4	-9.1 ポイント	↓	
	2025年1月	-23.3			-27.6			-25.4						

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
食料品	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
繊維工業	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1
木材・木製品	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0	1
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
窯業・土石製品	2	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1
鉄鋼・金属工業	0	2	0	2	1	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
一般機器	0	3	0	1	0	1	0	0	0	3	0	2	0	3	0	1	0	1
電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
輸送用機器	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸売業	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	X					
小売業	1	2	0	1	3	2	0	2	0	3	0	2						
商店街	0	3	0	1	2	1	0	2	0	2	0	2						
サービス業	4	0	X		4	0	1	1	2	1	1	0						
建設業	1	2			1	0	0	0	0	2	0	1						
運輸業	1	1			1	0	0	0	1	0	0	0					0	

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・製品相場が上昇し、販売価格の値上げによる収益増と言う好循環のおかげで予想以上の利益を出す事が出来た。ただ、人材確保が難しく人材紹介業者を使い始めたが、採用コストの増加が悩ましい。定年退職者が何名か出る為、若年層を採用し労働力の維持を図るにどうすれば良いのか思案している。
織物業	・本年度のゆかたの生地納入も最終段階織屋の減少により、生産数量は微増にとどまる。正絹生地生産も微増。遊休織機の再活用を模索している。
印刷	・グラフィックデザイン部門の収益が急上昇。しかし、経費負担増の解消が問題である。
骨材・石工品	・売上増加、収益好転、在庫増の社が多いが、業界景況は厳しい。
電気機械器具	・白物家電の1月の業界統計では、国内出荷金額は4ヶ月連続のプラスとなった。冷蔵庫は3ヶ月連続のマイナス、ルームエアコンは4ヶ月連続のプラスだった。インフルエンザの流行により空清機能付きエアコンが伸びている。 ・2月の生産実績は、販売減少影響を受けて冷蔵庫・家庭用エアコン共に前年比マイナスとなった。今後の天候変化と消費マインドの動向を注視している。
輸送用機械器具	・生産計画は下降気味である。

非製造業

セメント卸売業	・災害復旧、防災関連工事の発注増に伴い2カ月振りに前年実績を上回ったが、袋セメント市場は縮小傾向にあるため、引続き需要環境は厳しい状況にある。
鮮魚小売業	・原材料価格、ランニングコスト等の上昇及び高止まりが続いており、収益状況は厳しい。価格転嫁が追い付いていない状況。
野菜・果実小売業	・キャベツ、レタス、白菜、ジャガイモ、にんじん等青果物が全体的に高価格で推移した。1月より値段が下がった青果物がなかった。
商店街	・昨年がうるう年のため、営業日数が1日少なかったことにより、昨年対比では若干売上を落としたが、営業日数を同規模で比較すると、昨年並みであった。 ・借入金の利息が上がってきている。お米など食料品目の価格の値上げにより、飲食店なども苦戦している。時計・宝石など輸入品も値上がりしている。
宿泊業	・昨年と比較し、春節の恩恵はあまり感じなかった分、日本の観光客にはゆったりお過ごしいただけたように思う。 ・春節により中国からのインバウンドが増加。各種仕入れ価格の高騰が利益率を圧迫している傾向。
総合工事建設業	・原材料価格が上昇を続けている。 ・民間の建築工事は、年度末の完成が集中しているのと新年度の工事見積の依頼も増えているので忙しい状況が続いている。
職別工事建設業	・為替の影響による内需縮小傾向により、国内設備投資が低調なことを受け、計画の中止・延期・縮小が散見される。行政の後押しにより、取引条件はまだまだ上昇傾向にあるが、先行きは不透明感を増している。夏以降、公共工事をはじめ着工に期待する。
道路貨物運輸業	・運賃は改善基調にあるが燃料費や物価上昇に伴うコスト増分を十分に転嫁できず、利益の改善には至っていない。一方、実働率や実車率の向上により輸送効率が改善し、更に輸送数量も増加した結果、貨物自動車運送業界の景況感は改善している。しかし、依然としてコスト上昇圧力が強く、利益を圧迫する事業環境が今後も継続することが懸念される。
道路旅客運輸業	・1月の運送収入は昨年同期より2.5%上回ったものの、前月との比較では2.5ポイント減少となっている。1月までの年間累計は昨年同時期より4.4ポイント上回ったものの、先月までの累計値より0.3ポイント下がっている。好調が続いているインバウンドを静岡県に取り込むような施策の導入に期待したい。

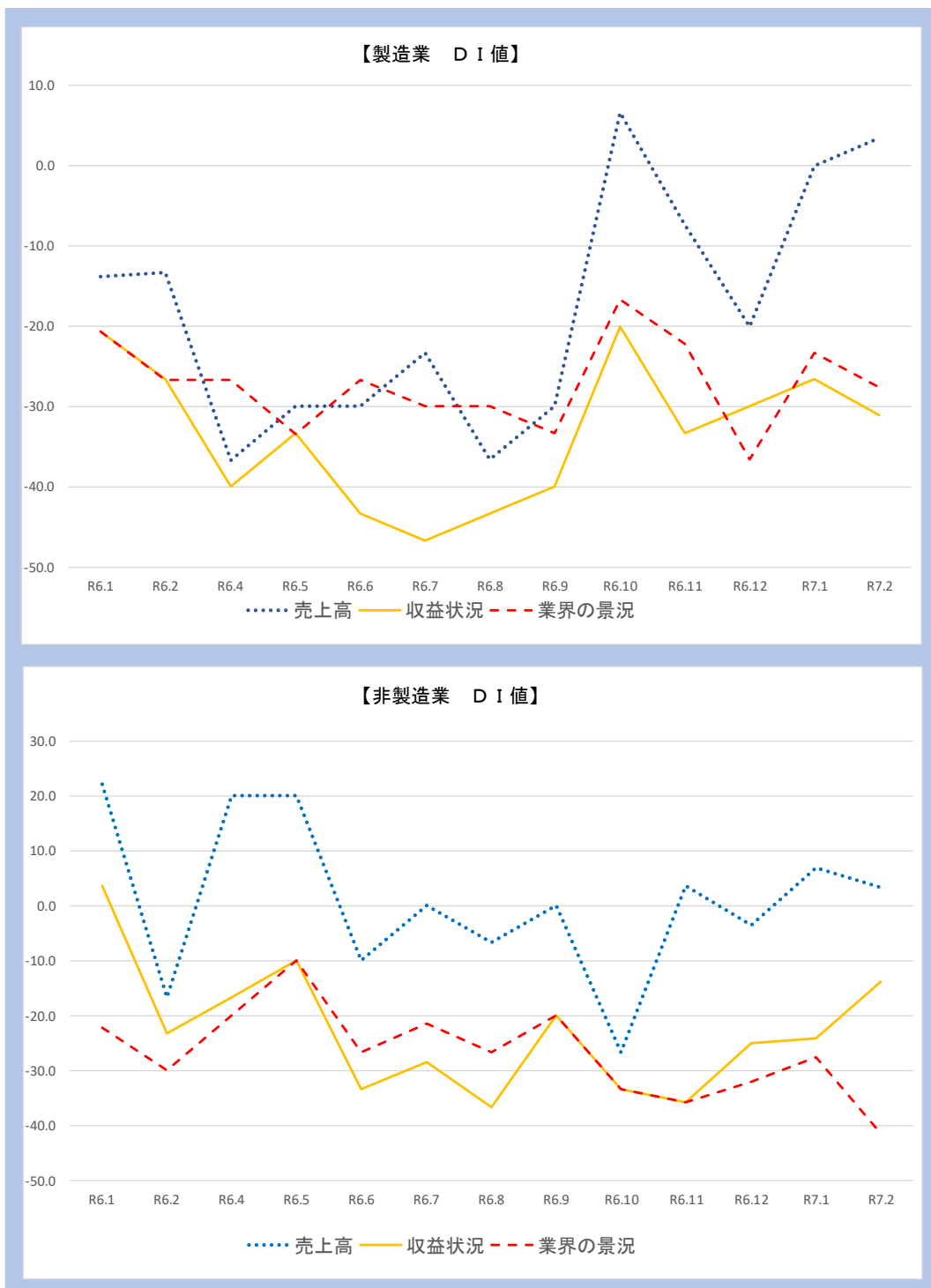
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2024年2月期～2025年2月期までの推移

全体	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
売上高	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7	-15.0	-10.0	-1.8	-12.1	3.4	3.4
収益状況	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0	-30.0	-26.6	-34.5	-27.6	-25.4	-22.4
業界の景況	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3	-26.7	-25.0	-29.1	-34.5	-25.4	-34.5

製造業	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
売上高	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0	3.4
収益状況	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6	-31.1
業界の景況	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3	-27.6

非製造業	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
売上高	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9	3.4
収益状況	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1	-13.8
業界の景況	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6	-41.4



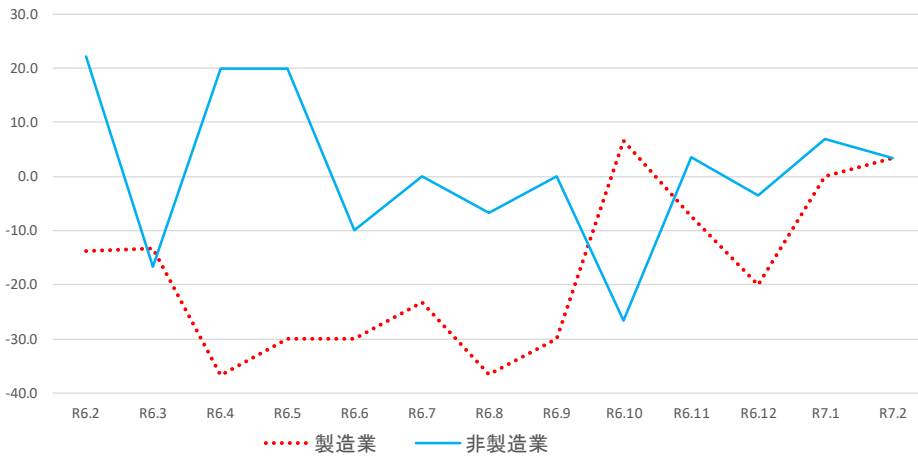
■2024年2月期～2025年2月期までの推移

売上高	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
製造業	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0	3.4
非製造業	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9	3.4

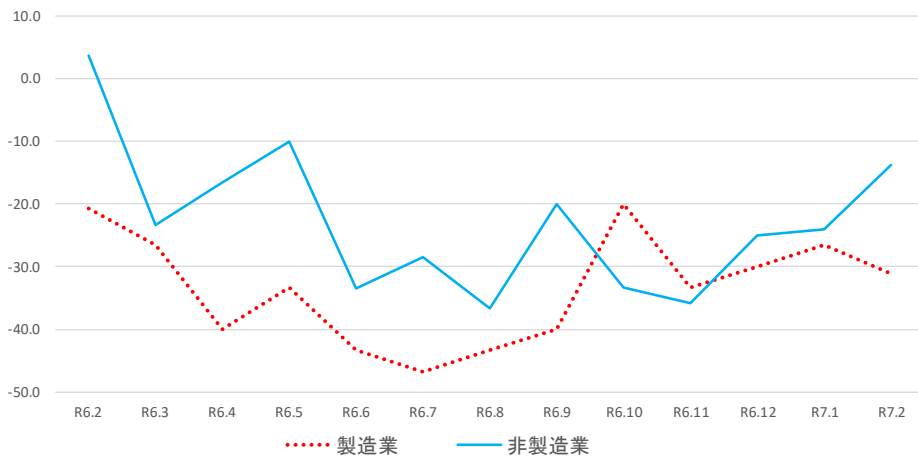
収益状況	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
製造業	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6	-31.1
非製造業	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1	-13.8

業界の景況	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
製造業	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3	-27.6
非製造業	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6	-41.4

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較D I 値】

